



メールにいがた

第 115 号 2015 年 8 月
新潟県点字図書館

今号の内容

1 点字図書館から 2 ページ

- 平成 27 年度全国視覚障害者情報提供施設大会（新潟大会）での情報機器展開催のお知らせ
- 10 月の臨時休館日と「メールにいがた」（10 月発行号）の発行日のお知らせ
- 今年度の移動点字図書館について
- 寄贈図書と読書感想文募集のお知らせ
- 第 153 回芥川賞、直木賞受賞作品の貸出等のお知らせ
- デイジー図書や雑誌の CD の傷を防ぐためのお願い

2 お役立ち情報 6 ページ

- 新潟県視覚障害者福祉協会からのお知らせ
 - (1) 県視障協・生活訓練指導員通信 no.7
 - (2) 「ふれあい・いきいきサロン」のご案内
 - (3) 「平成 27 年度新潟県視覚障害者ふれ愛フェスタ」のご案内
 - (4) 点字電話帳（タウンページ）を差し上げます
 - (5) 便利商品のご案内
- 「新潟県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会」のご案内
- 「ロービジョン相談会」が村上市で開催されます
- 日本盲導犬協会が村上市で行う「盲導犬体験歩行会」のご案内
- 「第 14 回新潟県障害者芸術文化祭」の出展作品と出場者を募集中！

3 図書紹介コーナー 13 ページ

- 図書選定委員 滝沢和子さん（新潟市秋葉区）のご紹介
「祖母、わたしの明治」 志賀かう子著 北上書房

4 功労表彰などの受賞者のご紹介 14 ページ

- 日本盲人福祉施設協議会理事長表彰

5 6月・7月登録の新刊制作ボランティア紹介 14 ページ

6 開館及び電話受付時間と8～10月の休館日 15 ページ

巻末 「日常生活支援機器情報コーナー no.19」

「iPhone 練習用アプリについて」

記事掲載ご協力 株式会社ラビット 代表取締役 荒川明宏様



1 点字図書館から

●平成27年度全国視覚障害者情報提供施設大会（新潟大会）での情報機器展開催のお知らせ

全国視覚障害者情報提供施設大会は、全国の点字図書館などが一堂に集い、視覚障害者への情報提供のあり方について研究討議を行い、新たな情報提供の創出と、関係機関や施設の更なる連携強化を図ることを目的に、毎年開催しているものです。

今年は、新潟県点字図書館が幹事館となり、来る10月8日（木）～9日（金）に新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟を会場に開催します。大会2日目の9日には、視覚障害者のための情報機器展も開催されます。

この情報機器展には、視覚障害者向け情報機器メーカー約 20 社前後が出展する予定で、様々な視覚障害者向け各種情報機器等を展示し、使用方法の説明などを行います。ご家族、ご友人、ボランティアの皆さん等お誘いあわせの上、最新の情報機器を体感してみてください。ご来場をお待ちしています。

《情報機器展》

日時：10月9日（金） 午前10時～午後4時

会場：ANA クラウンプラザホテル新潟 2階「芙蓉（西）」

新潟市中央区万代5丁目11-20

展示予定情報機器：各種白杖、テレビが聴けるラジオ、しゃべる家電、音声カラー識別器、点字ディスプレイ、音声デジタル録音・再生器、読み上げ拡大読書器、ルーペ、メモリーレコーダー、点字プリンターなど

●10月の臨時休館日と「メールにいがた」（10月発行号）の発行日のお知らせ

平成27年度の全国視覚障害者情報提供施設大会（新潟大会）を10月に新潟市で開催することに伴い、開催当日の10月8日（木）及び9日（金）の2日間は、点字図書館を臨時休館させていただきます。

また、大会の開催準備作業の関係上、当館情報誌「メールにいがた」（10月発行号）は、10月29日（木）の発行とさせていただきます。

利用者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

●今年度の移動点字図書館について

今年度の移動点字図書館は、当館の利用登録者が少ない市町村や点訳・音訳ボランティアの養成を強化したい市町村を対象に、次のような内容で行う予定です。

★第1回目（半日）

点字図書館職員、視覚障害者、ボランティア並びに市町村及び市町村社協の担当者と、見えにくい・見えないことによる障害、日常生活支援制度、視覚障害リハビリテーションネットワーク（ささだんごネット）の活動、ボランティア活動の支援などについて意見交換を行い、地域における視覚障害者福祉の推進を図ります。

★第2回目（半日）

点字図書館の事業案内、情報機器の利用説明、雑誌・新刊図書を紹介、新規利用者の登録を主体にしたミニ移動点字図書館を開催します。

また、開催地及び開催時期は、次のとおりです。

★佐渡市 11月8日（日）、11月9日（月） 会場選定中

★その他の地域 1～2か所を選定し、当該市町村及び市町村社協等と協議し、今後、開催時期と会場を決定する予定です。

●寄贈図書の貸出しと読書感想文募集のお知らせ

(1) 一般社団法人 フォーギブネス・フロム・ヒロシマから、次のデイジー図書の寄贈がありました。貸出しを希望される方はお申込みください。

★「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」 美甘章子（みかも あきこ）著

この図書は、被爆二世の美甘章子氏の両親の被爆体験記や生き様がつつられており、人々に戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを知っていただき、次世代の若者が平和の重要性を理解し、異なる立場にある人と相互にわかり合える、広く優しい心と感謝の気持ちを持った人間に育つための一翼を担えれば、との著者の願いが込められています。

(2) 一般社団法人 フォーギブネス・フロム・ヒロシマでは、被爆70年祈念事業の一環として、「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」読書感想文コンクールを実施しています。本を読むことが困難な方々からも多くのご応募をいただくため、オーディオ部門を設けています。

★オーディオ部門応募要領

応募方法：感想を5分程度までにまとめた音声データをCD-Rに保存し、事務局へ送付してください。送付にあたっては、応募する人の氏名、年齢、学生の場合は学校名と学年、住所、電話番号を任意の用紙に記入し同封して下さい。

応募締切：9月15日（火） 当日の消印有効

お問合せ・送付先：一般社団法人 フォーギブネス・フロム・ヒロシマ
「8時15分 ヒロシマで生きぬいて許す心」読書感想文コンクール
運営事務局（担当 西田）

〒151-0071 東京都渋谷区本町3丁目22番1号

TEL 03-5309-2904

入賞発表：フォーギブネス・フロム・ヒロシマのホームページ及び Facebook「8時15分」で9月26日（土）に発表します。入賞者ご本人には直接ご連絡します。

その他：いったん送付された作品は返却しません。著作権は主催者に帰属します。

●第153回芥川賞、直木賞受賞作品の貸出等のお知らせ

7月16日に開かれた第153回芥川賞・直木賞の選考会で、芥川賞にお笑いコンビ「ピース」の又吉直樹（またよし なおき）氏の「火花」、羽田圭介（はだ けいすけ）氏の「スクラップ・アンド・ビルド」が、直木賞に東山彰良（ひがしやま あきら）氏の「流」（りゅう）が選出されました。

サピエの登録状況は、「火花」が点字版とデイジー版が完成、「スクラップ・アンド・ビルド」及び「流」は製作中です。いずれの図書も貸出予約を受け付けていますので、ご希望の方はお申し出ください。

芥川賞と直木賞の受賞作品及び作者の概略をご紹介します。

★芥川賞受賞作品 「火花」 作者 又吉直樹

《作品紹介》

又吉さんが初めて書いた本格的小説。奇想の天才である一方で人間味溢れる芸人の神谷と、彼を師と慕う後輩徳永。笑いの真髓について議論しながら、それぞれの道を歩んでいった彼らの人生はどう変転していくのか。

《作者紹介》

1980年大阪府寝屋川市生まれ。よしもとクリエイティブ・エージェンシー所属のお笑い芸人。コンビ「ピース」として活動中。著書に「第2図書係」、「東京百景」がある。

★芥川賞受賞作品 「スクラップ・アンド・ビルド」 作者 羽田圭介

《作品紹介》

祖父の介護をする28歳の青年を主人公に、若者が高齢者にどう向き合うかを問いかけた物語。毎日のように「死にたい」ともらす祖父に安らかな最期を迎えてほしいとある計画を立てた主人公が、計画を実行する中でこれまで知らなかった祖父の心情を理解していく様子をユーモアを交えながら描いている。

《作者紹介》

1985年東京都生まれ。明治大学付属明治高校在学中の2003年に「黒冷水（こくれいすい）」で文藝賞を受賞。2010年に第四作「ミート・ザ・ビート」で第142回芥川賞候補。2012年に「ワタクシハ」で第33回野間文芸新人賞候補。2013年に「盗まれた顔」で第16回大藪春彦賞候補。2014年に「メタモルフォシス」で第151回芥川賞候補、第36回野間文芸新人賞候補。

★直木賞受賞作品 「流」 作者 東山彰良

《作品紹介》

1970年代から80年代にかけての台湾を舞台に中国との対立に翻弄される一家を描いた長編小説。東山さん自身のルーツを題材にしている。主人公の少年が17歳のときに何者かに殺害された祖父の死の真相を追って、台湾から日本、中国へと渡りながら繰り広げられる謎解きを軸に、主人公が成長していく姿を丹念に描いた作品。

《作者紹介》

1968年生まれ台湾出身、2002年に「タード・オン・ザ・ラン」で第1回このミステリーがすごい！大賞及び読者賞を受賞、2009年「路傍」で大藪春彦賞を受賞。

●デイジー図書や雑誌のCDの傷を防ぐためのお願い

デイジー図書やデイジー雑誌の返却確認の際に、CDがCDケースに入れられずに送られてくるものがあります。

CDケースは、CD郵送時の振動や衝撃からデータ書込み面に傷がつかないように保護する大切な役割があります。返却の際には、CDがCDケースにきちんと入っていることをご確認のうえ投函されるようお願いいたします。

2 お役立ち情報

このコーナーでは、視覚障害に関する様々な行事や日常生活に役立つ情報を掲載しています。次号116号（10月発行）に掲載したい情報は、10月2日（金）までに当館へご連絡ください。

●新潟県視覚障害者福祉協会からのお知らせ

新潟県視覚障害者福祉協会が実施する主な行事等をお知らせします。

お問合せ、申込みは視覚障害者福祉協会事務局へ
〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽 1-9-1
TEL 025-381-8130 FAX 025-381-8120
メール ngt.shikaku@cello.ocn.ne.jp

(1) 新潟県視覚障害者福祉協会・生活訓練指導員通信 no.7

(山口・生活訓練指導員)

連携は誰のため？

最近ロービジョンの方や医療・福祉の関係の方から言われることがあります。それは「ささだんごネットでは支援者が連携して視覚障害者の自立支援を行っていることは知っているけれど、視覚障害当事者の団体は多すぎて普段何をやっているのかわからない」というもの。僕自身も多すぎるなあと思っていましたが、視覚障害を専門としない人たちの意見も同じようです。

例えば役所では窓口の多さを考慮し、総合案内を設置して適切な窓口を教えてください。もし県内の視覚障害者の団体すべてが連合を組んでいて総合窓口が設置され、そこからいろいろな団体につないでくれることができたらロービジョンの方にとってこれほど良いことはありません。会員増にもつながります。このお話をベテランの視覚障害者の方などにすると、「お前は視覚障害をわかっていない。障害特性が違う。」とお叱りを受けることがあります。しかし団体は違えど目的は同じのはずです。すべては視覚障害者のため。手帳が有る無しに関わらず、窓口を広く構えた方が良く思うんですよねえ。

僕はそれぞれの団体の歴史や背景、失明原因など根本の部分を尊重してお話しをするのですが、こと連携となると団体間での人間関係がいろいろで難しいようです。一般的に企業提携などは利益や技術提供など特定の目的で連携を行います。それは政治でも同じです。「もっと大人にならなきゃだめじゃん。誰が嫌だとか子どもじゃないんだから。」という声が喉までせり上げてくるのを飲み込んでお話しを終わりました。

さて、皆さんはこの問題をどう考えるでしょうか。世間から見た視覚障害者の団体の姿について、改めて考えてみてはいかがでしょうか。

(2)「ふれあい・いきいきサロン」のご案内

毎月第1と第3木曜日に新潟ふれ愛プラザで開設しているふれあい・いきいきサロンについて、8月、9月、10月の開設日をお知らせします。

自分の生い立ちの話や地域の話、自分の見え方の悩みなどなんでも皆さんでお話してください。皆さんお誘い合わせのうえ、お気軽にお越しください。事前申し込みは不要です。

日時：8月6日(木)、8月20日(木)、9月3日(木)、9月17日(木)
10月1日(木)、10月15日(木)

何れの日も午後1時30分から3時30分

場所：新潟ふれ愛プラザ 2階 ミーティングルーム（新潟市江南区亀田向陽1-9-1）

(3)平成27年度新潟県視覚障害者ふれ愛フェスタのご案内

新潟県内の視覚障害者が集い、様々な課題を共に話し合ったり、短歌、俳句、川柳や音楽などの文化に親しんだり、様々な福祉機器を知ってもらうことなどを目的に毎年秋に開催している行事です。今年度で福祉大会が35回目、文化祭が65回目となります。ご家族、ご友人、ボランティアの皆さんなど、お誘い合わせのうえお出てください。

日時：10月4日(日) 午前9時～午後3時30分

会場：新潟ふれ愛プラザ（新潟市江南区亀田向陽1-9-1）

日程及び概要：

①第35回新潟県視覚障害者福祉大会（体育館 午前10時～12時）

- ・式典 ・優秀文芸作品表彰
- ・視覚障害者の意見発表（テーマは自由） ・大会宣言

②第65回新潟県視覚障害者文化祭（午後1時～3時）

- ・文芸作品（短歌、俳句、川柳）選評（会議室 午後1時～2時）
- ・アコーディオン演奏による歌声喫茶（体育館 午後2時～3時）

③共通イベント（午前10時～午後3時30分）

- ・福祉機器展（研修室他）
- ・地域活動支援センター「日だまり」授産品販売（ロビー）
- ・公益財団法人日本盲導犬協会 スマイルワン仙台による「盲導犬体験歩行会」（屋外）

その他：参加無料、昼食（お茶付き弁当）を希望される方には、600円

で幹旋します。お申し込みは、事務局（025-381-8130）へ。

(4) 点字電話帳（タウンページ）を差し上げます

平成26年12月に、NTTタウンページ株式会社信越営業本部から当協会に新潟県点字電話帳（新潟市版、下越版、中越版、上越版及び佐渡版の5分冊のタウンページ）が贈呈され、当協会発行の「福祉だより」を点字でお読みの方々にお送りしました。

まだ若干の予備がありますので、希望される方は9月30日（水）までに事務局（025-381-8130）へお申込みください。差し上げる点字電話帳はお住まいの地域版のみとなります。数に限りがあり先着順とさせていただきますので、お申込みはお早めに！

(5) 便利商品のご案内（価格は消費税込み）

申込方法：購入を希望される方は、8月28日（金）までに、商品名、購入希望数及び郵送先を事務局（025-381-8130）へ電話でお申込み下さい。

商品の発送までの手順等：

- ①お申込みの商品は、日本点字図書館などから直接送付されます。
- ②日本点字図書館などからの商品発送に合わせ、事務局から所要金額（商品代金及び商品送料を合算した金額）、振込者名等を記載した振込用紙（郵便振替用紙）が送付されます。
- ③送付された郵便振込用紙で所要金額をご入金ください。入金の際は、郵便振替手数料のご負担をお願いします。

★おしゃべり熱中症計 4,490円

音声で気温と湿度をアナウンスし、計測した数値をもとに、夏は熱中症、冬は風邪ひきの危険性を音声とLEDライトでお知らせします。形は鶏の卵よりひとまわり大きなしずく型で真ん中に可愛らしい顔が描かれています。お部屋のマスコットとして身近に置いていただき、環境管理、体調管理にお役立てください。

★多機能音声体重計 BC-202 15,900円

設定から計測まで、音声案内でサポートしてくれるタニタ製の多機能音声体重計です。計測は体重、体脂肪率、BMI（体格指数）、筋肉量、内臓脂肪レベル、基礎代謝量、推定骨量、体内年齢、体水分率の9項目です。個人データを4人分入力することができ、なんと、測る時は

どこのボタンも押さずにただ乗るだけでOK！ 4人のうちの誰なのかを自動的に識別して、9項目の結果を教えてください。また、お友達やお客様など、体重計に登録していないかたも計測できるゲストモード機能があるので、治療院などに置かれるのもおすすめです。

★けんおんくん MC-174V 音声付電子体温計 9,900円

わき・口中用の音声体温計で、しゃもじを小さくしたような形をしています。電源を入れた時、体温計をわきにはさんだ時、検温結果が出る時に、ブザー音とメッセージが流れます。音声案内スイッチには、点字で「きく」と表記され感温部ははさみ易くすれにくいフラットな形状になっています。持ち運びや保管に便利な収納ケース（フルケース）付きです。

●「新潟県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会」のご案内

新潟県障害者スポーツ協会が視覚障害者のスポーツ啓発活動の一環として毎年開催している大会です。

参加者の能力に応じてブロック分けし、各ブロック総当たり戦とし、上位3名を表彰します。多数の方々の参加をお待ちしています。

開催日：9月12日（土）

日程：受付（午前10時40分～）、開会式（午前11時）、競技（午前11時20分～午後4時）、昼食・休憩（正午～午後1時）、表彰・閉会式（午後4時～4時30分）

会場：新潟ふれ愛プラザ 新潟市江南区亀田向陽1-9-1

参加資格：視覚障害者卓球に興味のある方。弱視の方の参加もお待ちしています。

参加費：500円（昼食を希望される方は、更に500円プラスになります。）

参加時の服装等：運動のできる服装と上履を用意してください。ラケットを持っていない方には主催者側で用意します。保険には加入しませんのでご了承下さい。

お申込み・問合せ先：大会事務局 吉田浩 TEL 025-522-3725

申込みの締切りは8月31日です。

●「ロービジョン相談会」が村上市で開催されます

眼が見えにくいために、日常生活に不自由や不安を感じている方のために、新潟県眼科医会が平成21年度から県内各地で開催している相談会で、今年度は9月27日（日）に村上市で開催します。ご本人・ご家族はもちろん、眼科スタッフ、福祉保健関係者、医療従事者、一般の方々にとってもロービジョンケアを知る絶好の機会です。

点字図書館職員による図書館の利用相談・利用登録、新潟県視覚障害者福祉協会職員による日常生活訓練指導相談なども行います。皆さんお誘いあわせのうえ、お気軽にご来場ください。

日時：9月27日（日） 午前10時～午後4時

会場：村上市岩船郡医師会館（村上市急患診療所併設）

〒958-0862 村上市若葉町10-7 TEL 0254-52-4666

内容：

★医療・福祉相談

視覚補助具（拡大鏡、遮光眼鏡等）の選定・使用訓練、点字図書館利用相談、福祉情報の提供、日常生活上のアドバイス等

★便利グッズ展

視覚障害者の日常生活の助けになる小物などの展示及び購入予約の受け付け

★視覚的補助具機器展示

拡大読書器、各種拡大鏡、遮光眼鏡などの展示と使用体験

★ロービジョンケア ミニレクチャー（医療職の方を対象）

★盲導犬体験歩行会

詳しくは、次の案内項目「日本盲導犬協会が村上市で行う盲導犬体験歩行会のご案内」で紹介しています。

お問合せ先：新潟県眼科医会事務局 TEL025-227-2294

●日本盲導犬協会が村上市で行う「盲導犬体験歩行会」のご案内

9月27日（日）に村上市岩船郡医師会館で開催される「ロービジョン相談会」の会場で同時に開催します。

盲導犬との生活に興味をお持ちの方々に、盲導犬との歩行体験を通して盲導犬の良さを実感していただくとともに、実際に盲導犬を持つうえでの疑問にお答えして、不安を解消していただくことを目的にしています。

内容：論より証拠！ まずは一緒に歩いて、触れて、体験してみましょう！

★盲導犬との歩行体験

会場内や周辺を実際に歩いて、盲導犬の仕事を体験します。自分で好きなときに歩ける楽しさを実感してください。

★盲導犬の様々な疑問にお答え

食餌、トイレ、ブラッシングなどの日常生活から、盲導犬を同伴してどこでも入ることができること、盲導犬を持つまでの流れなど様々な疑問に訓練士がお答えします。

★盲導犬にかかる費用の説明

盲導犬は無償貸与なので犬の費用は発生しませんが、食餌代、医療費などの費用が発生します。市町村の医療援助などを含め費用の相談にお答えします。

お問合せ先：（公財）日本盲導犬協会 仙台訓練センター（スマイルワン仙台） ユーザーサポート部 TEL 022-226-3910

●「第14回新潟県障害者芸術文化祭」の出展作品と出場者を募集中！

障害者のみなさんが日ごろから取り組んでいる芸術文化活動の発表の場として、あるいは新たな活動のきっかけの場として、その活動を盛り上げるために毎年「新潟ふれ愛プラザ」（新潟市江南区亀田向陽 1-9-1）で開催されています。

今年は、美術展が11月8日（日）～14日（土）に、ステージ発表が11月15日（日）に開催されます。大勢の皆さんのご応募をお待ちしています。

募集作品：

①美術作品

絵画、書道、写真、工芸（はり絵・ちぎり絵、陶芸、織物、木工品など）

②文芸作品

短歌、俳句、川柳、自由詩

③ステージ発表

音楽発表（器楽演奏、歌唱、踊り）

応募方法：所定の申込書に必要事項をご記入のうえ、9月18日（金）までに事務局へお申込みください。

詳しい応募要領や申込書は、新潟ふれ愛プラザやお近くの市町村などにあります。当館にもありますので、ご希望の方はご連絡ください。また、申込み用紙への記入代筆をご希望の方はその旨お申し出ください。

申込み・お問合せ先：新潟県障害者社会参加推進センター

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽 1-9-1 新潟ふれ愛プラザ
TEL&FAX 025-383-3654

3 図書紹介コーナー

「祖母、わたしの明治」 志賀かう子（こうこ）著 北上書房 1983年
図書選定委員 滝沢 和子 さん（新潟市秋葉区）のご紹介

戦後 70 年、私たちは豊かなものに囲まれ、自分らしくとか楽しくとか気軽に口にし、生活している今、「祖母、わたしの明治」を読みかえして、宇都宮の女医一号の祖母とその祖母に育てられたかう子に「生きる」生き方を教えられたおもいがする。

ケチと儉約は大違い。 今どきそんな儉約なんか・・・と思うが、紙を・ティッシュを二つ折りにして奥の方でチン！ それを四つ折りにしてチン！ と鼻をかむ。それを懐に仕舞い次の時に・・・・。2000年7月に105歳で亡くなられた日本画家の小倉遊亀（ゆき）さんも使い終わったティッシュは正方形に折りたたまれていたという。「もうどうせ捨てるものやけど鼻をかませてもらった感謝の気持ちや」と孫小倉寛子さんの看護日誌にあった。

たしなみ。 この言葉は今も生きているだろうか。日々の暮らしの中で身に付けてゆかねばならないことを、他人に不快な思いを与えぬために自分を鍛えることだと。それが凜とした、床しい生きざまとなるのではなからうか。明治の人々や祖母は根気よく、繰り返し繰り返し「なりませぬ」とそうせずにはいられない習慣を植え付けるのである。教育の根本だろう。

終戦前、B29による空襲・焼夷弾の炸裂、防空壕の話などに現在の平和をおもおう。

モッタイナイ・オモテナシの言葉がもてはやされて久しい。明治とは随分昔のはなし。時代の進歩により快適に豊かに、しかし、なんとなくあわただしく過ごす今日、この本の`それにしてもものをいとおしみ、いつくしみ、心を込めて扱った明治の人たちよ、祖母よ！ あなたたちの周りには何とつつましく豊かに、静かな時間が潤っていたことかと畏敬の妬みをこめて声を発してしまう`という志賀かう子さんに同感する。

古い昔のことだと言わずに是非読んでいただきたい一冊である。

ちなみに、祖母は明治 45 年に宇都宮で開業医となった。一族には赤痢菌の志賀潔博士。シュバイツァー博士の片腕として医療活動をした高橋功（いさお）博士がいる。

小倉寛子著の「小倉遊亀 天地の恵みを生きる一百四歳の介護日誌」は、1995 年に文化出版局から出版された。

点字：3 冊 デイジー：5 時間 35 分

4 功労表彰などの受賞者のご紹介

● 社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会奉仕活動者表彰(6 月 26 日)

《点訳奉仕》安達文子（あだち ふみこ）さん 長岡市

《音訳奉仕》笠原健一（かさらは けんいち）さん 新潟市西区

5 6 月・7 月登録の新刊製作ボランティア紹介 (五十音順敬称略)

【点訳】(29 名)

明村弘子/麻生泰子/池津正子/五十嵐陽子/巖和郎/岩崎瑠美子/
大竹とも子/荻野妙子/加古川成子/川崎真理子/木伏美佐子/桑原勝枝/
桑原けい子/小林みつ子/小林涼子/坂爪文子/佐藤まさ子/佐藤美智子/
佐野朝子/周佐慶子/得永千恵子/富井タミ/平石仁美/堀水克也/皆川陽子/
村山栄子/樽和也/山田美恵子/山本喜美子

【音声訳】(24 名)

植村泰子/加藤美起子/嘉藤百合/桑原邦子/小林恵子/小松栄子/
齋藤久美子/齋藤敬子/齋藤源一郎/齊藤正子/酒井智子/酒井幸子/
杉山よし子/鈴木陽子/高橋ひろ子/塚本真理子/戸島美江/
富所純子/豊田三世/永井美智代/羽賀系み/速水美智子/布施みさ子/
山田草子

【デイジー編集】(6 名)

狩谷ケン子/柴田弘子/中村一江/林章子/横山トシ子/吉岡廣子

6 開館及び電話受付時間と8~10月の休館日

●開館及び電話の受付時間

午前9時～午後5時



●8~10月の休館日

★8月の定例休館日

3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月)・31日(月)

★9月の定例休館日

7日(月)・14日(月)・24日(木)～28日(月)

※ 9月21日は月曜日ですが開館します。

★10月の定例休館日と臨時休館日

①定例休館日

5日(月)・12日(月)～13日(火)・19日(月)・26日(月)

②臨時休館日

8日(木)～9日(金)

【職員のつぶやき：】 「夏の思い出」

今年の夏は例年になく、猛暑日が続いています。私が子供の頃は、夏休みになればラジオ体操で朝が始まり、昼間プールへ通い、その間に夏休みの宿題をすませたり、外へ遊びに行ったり。夏はよく蝉など虫捕りをしたり、用水路でザリガニや魚捕りに熱中したり、とにかく外に出ていた思い出がたくさんあります。

ところが最近感じるのは、昔と比べると暑さや紫外線量が、明らかに違うなあと思います。外にでると紫外線が強いので、肌がヒリヒリしたり、目が焼ける感じがします。日焼け止め対策をちゃんとするように心掛けています。

この夏はカレンダーを見ながら、どこに行けるか、何ができるか思案中ですが、なかなか思うようにはいかないようです。こんなに暑いと外へでかけるよりも、屋内でできる事を考えてみたいと思います。何か1つでも楽しい思い出ができる事を願いながら。

まだまだ暑い日が続きますが、夏バテだけはしないよう体調管理に気を付けて過ごしたいものです。(狩野)

日常生活支援機器情報コーナー（no.19）

「iPhone練習用アプリについて」

6月にソフトバンクから「視覚障害者向け使い方教室 For iPhone」というソフトがリリースされました。このアプリは、視覚障害者が健常者のサポーターと一緒にiPhoneを練習するためのアプリです。iPhoneには「ボイスオーバー」という機能が標準で入っています。そのため、iPhoneを購入すればすぐに視覚障害者も使うことが可能です。パソコンのように音声化ソフトの購入は必要ありません。

しかし、この「ボイスオーバー」の操作を覚えるのがなかなか大変です。iPhoneを使って居る健常者でもほとんどの方がボイスオーバーの使用方法はわかりません。そこで作られたのが今回紹介のアプリです。このアプリの開発にはラビットも深くかわかり、実際にソフトバンクが紹介している動画でも私が参加しています。 <https://www.youtube.com/watch?v=udeW1Sb5JZk>

iPhoneを購入しても自力で覚えるのは大変です。また、どのようにして学習してよいのかわかりません。このアプリを使って順番に学習していくとiPhoneの基本操作、ソフトの起動方法、電話の受け方やかけ方、文字入力の方法などまずは覚えなくてはいけない内容をすべて学習可能です。

私は6月に「iPhone体験会」の講師を何回か行いました。今回からこのアプリを使って実際に行っています。講習時間は1回2時間で行います。最初の1時間はみなさんどのように操作をして良いのか、説明を聞いても何をしているのか全く分からないと言った感じです。しかし、1時間を過ぎるとなんとなく分かってくる部分もあります。特に操作練習もあり、電話のかけ方などの練習まで行くと、もう使うのは大丈夫。学習用のアプリですので、わからないから何回もその説明を聞いてもiPhoneにいやがられる心配はありません。

iPhoneを携帯型のキーボードで利用することも可能です。少しなれたらキーボードとの併用を行うとより、便利になります。

【記事掲載ご協力及び製品のお問合せ先】

株式会社ラビット代表取締役 荒川 明宏

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-7 スカイパレス 401

電話 03-5292-5644 FAX 03-5292-5645

メール eigyo@rabbit-tokyo.co.jp